

東郷湖羽合臨海公園における民間活力導入に向けた 第2回サウンディング型市場調査の実施結果

まちづくり課

1 概要

(1) 実施期間 令和7年1月10日から2月10日(32日間)

(2) 参加事業者 2社

(3) 提案概要

- ・いずれの社も宇野地区での事業展開について提案があった。
- ・1社からは、アウトドアを中心とした事業を20年間行うという提案があった。
- ・もう1社からは、日本海エリア単独では採算が取れないので、他の施設と一体的な管理運営(5～8年間)にしてはどうかと提案があった。

2 主な意見や提案

(1) 全体的な実施方針

① 事業運営の目的、基本的な考え方

- ・アウトドアを中心とした公園の利活用の提案が可能。特にキャンプ場(宇野地区)の再整備により、県内外・インバウンド旅行者を誘客できる。
- ・展望スペース(宇野地区)を活用して四季折々の星空観察を行い、星取県の取組の一環とできる。
- ・はわい長瀬地区では、青少年団体の活動や、サイクリング・ロングトレイルの実施が可能。
- ・地元の方の憩いの場であり、安全で快適な空間の提供のため適正な管理を行うとともに、鳥取県中部の観光振興、地域活性化に寄与できる。

② 公園の活性化、利用者の利便性向上、周辺施設等との連携等への考え方

- ・環境美化や安全管理のルール厳守、深夜時間帯の防犯管理を徹底したい。
- ・一部エリアに利用料金を設定したい。
- ・売店跡地(宇野地区)はマルシェ開催などのオープンなスペースとして使用できる。
- ・キャンプ場(宇野地区)は無料とするが、利用可能期間等を従来よりも拡充し利便性向上に寄与できる。
- ・公園管理のため管理人を配置する。
- ・日本海エリア単独では採算が得られる事業実施が困難であり、管理人を配置できるだけの収益は見込めない。
- ・景観の良さを生かしながら安全性・快適性を確保し、幅広い方に利用していただくことができる。
- ・日本海エリアを中心としたガイドマップや公式サイトを立ち上げる。
- ・近隣温泉宿の日帰り利用や、日本海エリアと臨海公園他エリアを結ぶウォーキング、自然観察会、ワークショップ等を行う。

(2) Park-PFIの提案について

① 事業スケジュール

- ・5～8年間
- ・20年間
- ・中間年等に物価や利用状況などの諸状況を踏まえ、条件変更を行うことを希望する。

② 公募対象公園施設、特定公園施設及びそれ以外の区域の区分け

施設の種類	事業実施場所
公募対象公園施設	宇野地区
特定公園施設	宇野地区
指定管理者制度による管理運営を行う施設	はわい長瀬地区、宇野地区

③ 公募対象公園施設の提案

提案内容	場所
・再整備（電源、給湯設備、トイレ改修、ごみステーション、有料化）	キャンプ場
・RVパーク（電源、給水、給湯設備、東屋、ゲート）	駐車場
・ランドリースペース設置 ・屋外シャワー ・休憩所整備（屋内休憩所、食品自販機、有料電源設備、Wi-Fi）	休憩棟
・キャンプ可能な場所に整備（芝生化、炊事場、給湯設備、ゲート） ・サウナ設備（2工期目として5年目頃に設置）	ピクニック広場
・看板デザインの変更、設置	その他

④ 特定公園施設の提案

提案内容	場所
・展望ウッドデッキ（星空観察）	展望台スペース
・海岸沿いへ通じる園路	休憩棟～海岸沿い
・足洗い場の改修	休憩棟

⑤ 公園施設使用料負担額

0円～約12万円/年

⑥ 参画意向、事業者選定に関する意見、課題

- ・宇野地区、はわい長瀬地区のポテンシャルは非常に高く、フルシーズンでの運営も可能。
- ・管理人が不在でルールがなくなっているのが課題。
- ・指定管理者制度部分の仕様内容や委託料金額により事業参画の可否及び整備の事業規模を判断する。
- ・Park-PFIの収益事業だけで投資を回収することは困難。
- ・発生する問題に対する責任分担が曖昧であるため、整理すべき。
- ・一般利用者が多いトイレ（宇野地区等）の水道代金は県に負担してほしい。
- ・日本海エリアのみでの管理運営は困難。

（３） その他事業全般に対する意見、要望等

- ・現状の立地や利用状況を鑑みると、思い切った投資は難しい。
- ・何か特徴を設けることができれば利用が増える。
- ・光回線等のインターネット環境は県が整備できないか。
- ・ピクニック広場（宇野地区）は勾配が急で活用が困難。
- ・キャンプブームは一段落したため、県が整備した施設を管理運営したい。